

あさの ちゃんねる

医療法人社団 浅ノ川

浅ノ川総合病院 広報誌

2013年5月号(年4回発行)



イメージキャラクター
あさのちゃん

春が来ましたね。
気持ちも初心で
リフレッシュ!



「あさのちゃん」をよろしく 病院長 大西 寛明

「くまモン」の快進撃が止まりません。2011年3月の九州新幹線全線開業をきっかけに生まれたくまモンは、熊本だけでなく、関西や関東にも出張して、熊本のおいしいものや大自然を熱烈アピール中!得意技のくまモン体操がブレイクし、このところテレビに出ない日はないほどの売れっ子で、今や、ゆるキャラ界のスーパースターなのです。

一方、皆様ご存知の「あさのちゃん」。浅ノ川総合病院開設60周年を記念したラッピングバスのマスコットとして、2010年10月より金沢市内を走り始め、2012年5月の金沢城リレーマラソンで着ぐるみ、ゆるキャラデビュー。子供たちに絶大な人気を博しております。得意技は「あさのちゃんwalk」 転びそうで転

ばない歩きの不安定さが可愛いとか。院内のふれあい感謝祭やクリスマスコンサートは勿論、県産業展示館でのビジネスフェアにも出演し、当院のイメージアップに努めています。

「元気のある病院・元気のでる病院」は、2012年度からの浅ノ川総合病院の新しいテーマです。まずはスタッフ全員が明るい挨拶をしっかりできることが基本です。もちろん医療人としての知識の習得、技術の研鑽に日々努め、常に思いやりの心を忘れません。私たちの元気をお裾分けできることによって、患者の皆様方にも元気が出ますよう、あさのちゃん共々頑張ります。最後に宣伝広報部長のあさのちゃんから、皆様方へのお知らせです。

「当院では、医師、医療スタッフによる無料の出前講演を昨年より行っております。講演内容のリストもごさいますが、健康や病気に関するこんな話が聞きたいとのご要望がございましたら、担当の私、「あ・さ・の」までご連絡ください。公民館、会社等にもお伺いさせていただきます。」



病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

病院の方針

1. 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
2. 患者の皆様によりやさしい、活気にあふれる病院を目指します。
3. インフォームドコンセント(説明と同意)に基づいた治療を行います。
4. 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
5. 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。



てんかん診療について

てんかん・機能外科部門 部長 川村 哲朗
日本てんかん学会専門医・指導医

「てんかん」という言葉は、ある1つの特定の病気を示すものではありません。てんかんとは、様々な原因によって起こる脳の慢性疾患のグループを意味します。その共通する特徴は、脳の神経細胞が一時的に異常な電気活動をして、てんかん発作を繰り返すことです。てんかんにはいろいろな病気がありますから、てんかん発作にもいろいろなものがあります。てんかん発作というと、「全身をけいれんさせて泡をふく」というものを想像する人が多いのですが、てんかん発作はそればかりではありません。目が覚めているときに全身を一瞬びくつかせる発作(ミオクローヌス)、10秒前後ぼんやりして動作が止まるだけの発作(欠神発作)、急に転倒してしまうような発作(脱力あるいは強直発作)、ぼんやりして一定の動作を繰り返す発作(複雑部分発作)などもてんかん発作です。発作によっては本人も周囲の人もてんかん発作と気づいていないこともあります。

てんかん発作とてんかん性疾患にはさまざまな種類がありますから、診療にあたっては、どのような発作を起こしているのか(発作診断)、何という病気なのか(症候群診断)という2つのことを明らかにしなければなりません。発作診断がつかなければ使う薬が決まりませんし、症候群診断がつかなければ今後どうなるかという予測ができません。ところが現実には、ただ「てんかん」とだけいわれて漫然と投薬されている場合が少なくありません。

てんかんの主な治療法には薬物治療と外科治療とがあります。全てんかん患者の約70%では、薬剤で発作を十分にコントロールできます。ところがどんな薬剤を用いても、発作を十分にコントロールできないてんかんがあります。このような難治性てんかん患者の約10%、日本ではおよそ3万人の患者が、外科手術によって発作が改善する可能性があります。

てんかんの患者数は総人口の約1%といわれていて、北陸3県では約3万人がさまざまなてんかん性の病気をもってしていると推定できます。このように患者数が多い疾患にもかかわらず、北陸にはてんかん診療に精通した医師は極めて少ないのが現状です。日本てんかん学会認定専門医は、北陸3県を合わせてもわずか5名しかいません。また、てんかんの専門的検査から外科治療まで実施できる医療機関は浅ノ川総合病院しかありません。このような憂慮すべき状況ですから、医療機関のみならず、教育機関や行政がてんかん医療の改善のために行動を開始しないと、北陸のてんかん医療の質は標準レベルに達することなく低下の一途を辿ることになります。

当院での取り組みとして、まずてんかん専門外来を設けました(毎週火曜日、第2以外の土曜日)。てんかんを専門としない先生方から、診断や治療に難渋されている患者さんを紹介される件数が急増しています。また自分のてんかんは治らないと諦めていた方が、当院のホームページや「てんかんガイド」で手術によって治るてんかんがあることを知って来院し、実際に手術可能と判明する件数も多くなっています。またさらなる取り組みとして、石川県高度専門医療人材養成支援事業の助成を受けて、てんかん医療の学習会や研究会活動を開始したところです。今後はてんかん診療のみならず、てんかんの教育・啓蒙活動にもこれまで以上に積極的に取り組みたいと考えています。

写真1…ビデオ脳波モニタリング

発作時の症状とそのときの脳波を同時に記録することが目的です。てんかんの発作診断のみならず、心因性の原因でおこる非てんかん性発作の診断にも役立ちます。



写真1

写真2…海馬硬化症を伴う内側側頭葉てんかんの3テスラMRI画像

右海馬(矢印)が著しく萎縮しています。てんかん手術のうちで最も発作消失が期待できる症候群で、発作消失率はおよそ80%に達します。



写真2



てんかん専門外来を受診するには、通院している医療機関からの紹介状と受診予約が必要です。「てんかんガイド」は脳神経センターで無料配布しています。

連携登録医のご紹介

今回は、平成5年に開院された「つちや眼科クリニック」をご紹介します。

当院は平成5年に金沢市森本で開業し、平成16年より現在の金沢市吉原町で診療をおこなっております。

私自身の専門としては眼科一般、レーザー光凝固術（糖尿病性網膜症、後発白内障、閉塞隅角緑内障、網膜静脈分岐閉塞症などの疾患が対象）、コンタクトレンズ全般です。昨年、3DOCT*を導入し、網膜の病気に対する治療方針の決定や治療効果の判定に役立てております。各種検査、レーザー治療など眼科全般を診療しておりますが、最近、量販店などで購入したカラーコンタクトを使用している方の、目の異常・障害の受診が多くなっております。カラーコンタクトも眼科医による処方と管理が必要ですので、お気軽にご相談ください。

人と目にやさしい眼科を目指し、スタッフ一同、常に患者様・ご家族の立場となって考え、明るく笑顔で仕事に臨んでおります。また、手術が必要な際は浅ノ川総合病院をはじめ病院に紹介し、手術後や病状の安定した患者様を引き続き当院で診る、という地域医療連携に努めています。今後も浅ノ川総合病院と連携協力し、地域から信頼される医療を提供します。

*OCT (Optical Coherence Tomography) 検査とは、網膜の断層画像を撮影する検査です。



[院長 土屋 美津保 先生]

昭和 58 年	金沢大学医学部卒業
	金沢大学眼科学教室入局
昭和 60 年	河北中央病院眼科医長
昭和 61 年	金沢大学眼科学教室
昭和 62 年	国立金沢病院眼科
平成 4 年	根上総合病院眼科医長
平成 5 年	金沢市森本にて開業
平成 7 年	医療法人社団 土屋医院 設立
平成 16 年	現在地に新築移転

日本眼科学会認定専門医
日本緑内障学会会員

つちや眼科クリニック

院長：土屋 美津保
診療科：眼科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:15	○	○	○	○	○	○	/
14:30～17:30*	○	○	○	/	○	/	/

休診日：木曜午後、土曜午後、日曜・祝日
*8月より 17:00 まで

住所：石川県金沢市吉原町ヨ-130-2
電話：076-257-4600



JR 森本駅から歩いて2分
山側環状道路森本出口より車で3分

連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します」を病院の理念として掲げて、外来医療の質や環境を改善することを目的として患者様および御家族の方々にアンケート記入をお願いし、私共職員に対する満足度についての調査をさせていただきました。アンケートにご協力いただいた方々には、この場をお借りして厚く感謝御礼申し上げます。

I. 満足度の測定方法

「非常に満足している」、「やや満足している」、「ふつう」、「やや不満」、「非常に不満である」、「その他」の6段階で評価

II. 調査期間

平成24年11月12日～14日(9:00～16:00)

III. 受診科・回答数

全回答数(402)…内訳：内科(103)整形外科(36)外科(19)脳神経外科(28)神経内科(21)泌尿器科(14)産婦人科(25)小児科(7)眼科(49)形成外科(22)皮膚科(34)耳鼻科(25)健診センター(3)複数科(16)

IV. 調査結果

1. 各項目に対する満足度の結果(グラフを参照)

医師による診察・治療内容や対話に対して70～80%の方が満足と答えていました。また、看護師に対する満足度は70～80%、受付スタッフの満足度は60～80%満足との回答をいただきました。ただし医師との対話に非常に不満と回答した方もいらっしゃいました。

2. 記述回答の結果

良い意見として「職員の方々が親切で良かった」「職員がやさしい、広々として大変気持ち良い、良い所だと思っています。」「職員の皆様のキビキビした様子がとてもいい。私語も全くなくてとても気持ちいい。」などがありました。

悪い意見として「待ち時間が長い」「一部受付で患者の顔を見ないで話していることが見られ、患者に不安を与えるのではないかと思いますので改善してほしい」「車椅子を増やしてほしい」「看護師の無表情が少し気になったので笑顔があると嬉しい」「駐車場が少ない」などがありました。

V. アンケートを終えて

医師による診察・治療内容及び医師との対話に関して非常に不満と回答した1科は、聞き取り調査を実施し改善策を講じています。一部の職員の態度が不快感を与えたことに対して、一人ひとりが理念に立ち戻り心を込めた対応を全職員一丸となって取り組んでいかなければならないと痛感しております。

また、待ち時間が長いという意見がどの科からも出ており、それぞれの科で改善策を立ててもらいました。その結果として短縮は難しいがおおよその待ち時間や何番目の診察なのか、待合室の状況をスタッフ全員が気を配り、適宜患者様に声を掛けることとしました。

今回多職種でアンケート調査に関わることで、病院全体で満足度調査に取り組む事が出来たと思います。また、患者様から直接「生の声」を聞く事が出来た事は非常に意味合いが大きく、今後職員全員でこの結果を周知し、患者様の満足度が更に向上する対応を心がけていきたいと思っております。

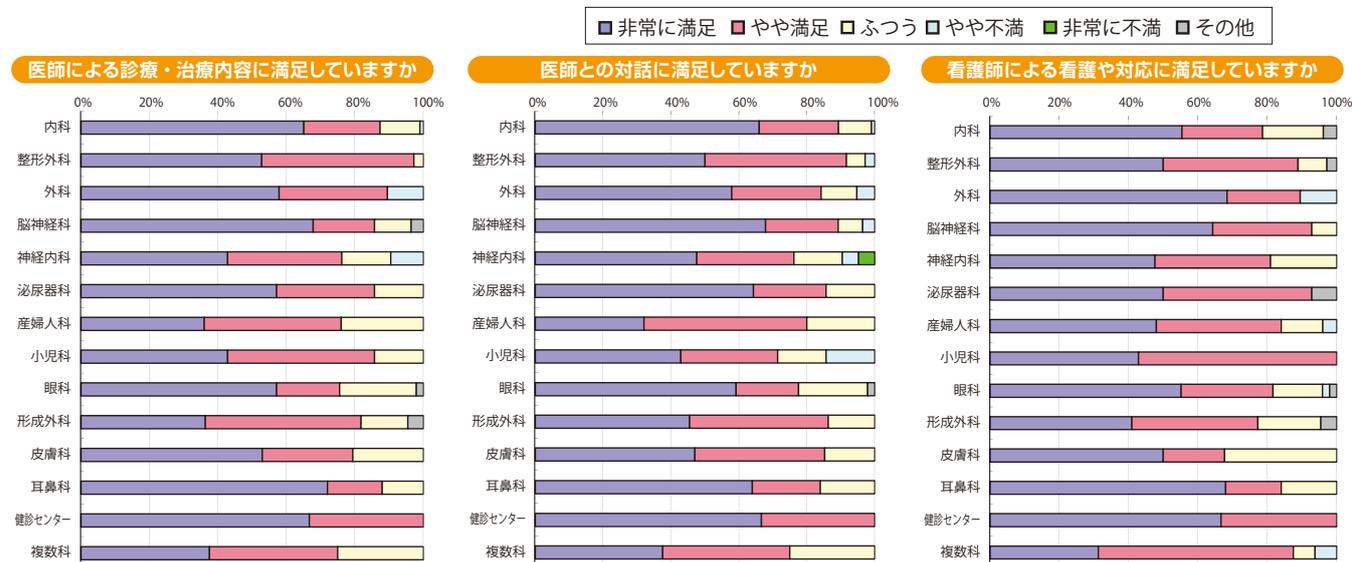
<今後の課題>

- 1.一人ひとりの患者様を大切に、各科で改善策に取り組む。
- 2.待ち時間短縮は必須であり、今後待ち時間班と共に検討して改善していく。



◎本調査は今後も定期的に行って行く予定であります。アンケート記入等で、またお手を煩わす事もあるかと存じますが、その節は何卒よろしくお願い申し上げます。

満足度調査結果グラフ



新任医師紹介



よろしく
お願いします！

今年4月から赴任された医師を紹介します！



外科

みちわ よしお
道輪 良男

患者様の希望に沿った治療が行えるように、頑張っていきたいと思えます。

専門分野／一般外科、乳腺科
認定資格／日本外科学会外科専門医・指導医、日本乳癌学会認定医、日本がん治療認定医機構認定医・暫定教育医



外科

しんばし ひろき
真橋 宏幸

患者様の力になれるように頑張ります。

座右の銘
「衆人皆師」

専門分野／消化器外科
認定資格／日本外科学会専門医

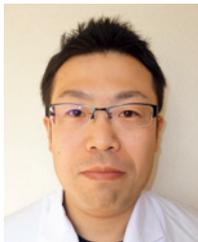


泌尿器科

すが こうだい
菅 幸大

初めての場所ですのでご迷惑をおかけする事が多々あると思いますが、よろしくお願ひします。

専門分野／泌尿器科一般
認定資格／日本泌尿器科学会 専門医・指導医



内科

さいとう まさとし
齋藤 雅俊

皆様と協力して頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

座右の銘
「笑う門には福来たる」

専門分野／呼吸器内科
認定資格／日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医



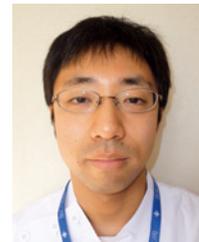
内科

さわむら としたか
澤村 俊孝

まだまだ病院に慣れないところもありますが、患者様と優しく向き合える医療を行っていききたいと思ひます。

座右の銘
「士別れて三日なれば、即ち更に刮目して相待すべし」

専門分野／内分泌、糖尿病、高血圧



脳神経外科

おおいし まさひろ
大石 正博

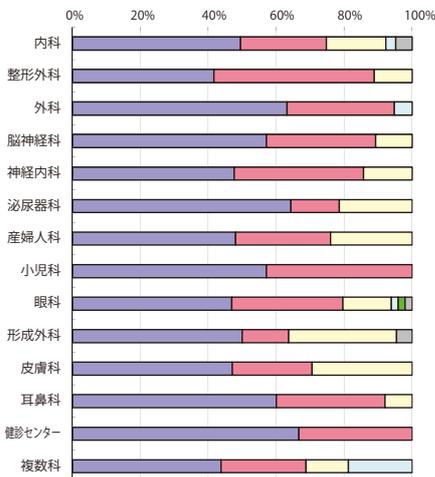
約1年ぶりに浅ノ川総合病院に戻って働くことができ、非常に嬉しく思ひます。地域に根差した医療を目指して全力で医療にあたる所存です。よろしくお願ひします。

座右の銘
「一所懸命」

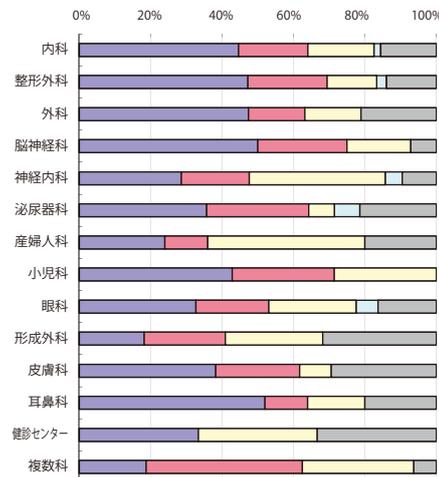
専門分野／脳神経外科一般

■非常に満足 ■やや満足 □ふつう □やや不満 ■非常に不満 □その他

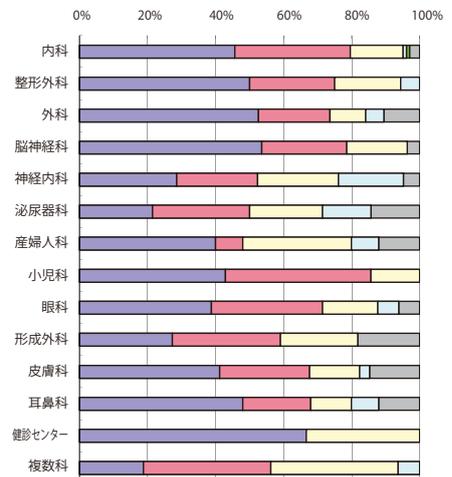
受付スタッフによる説明や対応に満足していますか



診療時のプライバシー保護の対応に満足していますか



この病院の設備について満足していますか



あさのがわ訪問リハビリ・訪問看護ステーションがオープン！



訪問看護・訪問リハビリのスタッフ

平成25年4月、当院東館1階に「あさのがわ訪問リハビリ・訪問看護ステーション」がオープンしました。私たちスタッフは皆様が住み慣れた家、慣れ親しんだ地域での生活をお手伝いします。看護師による訪問看護や退院直後で療養生活に不安のある方は理学療法士・作業療法士による訪問リハビリテーションをご利用できます。お気軽にお問い合わせください。

(問い合わせ先) 電話／FAX：076-252-3415(直通)

または電話：076-252-2101(浅ノ川総合病院代表)

行事レポート

平成25年度入職式・新入職員研修

平成25年4月1日(月)、入職式が行われました。今年度の新入職員は38名。新社会人となった皆さんは、やや緊張した面持ちで、小市理事長、大西病院長の話に耳を傾けていました。

入職式終了後、早速研修がスタート。新入職員は、病院理念や組織の特徴などを学び、“浅ノ川総合病院のスタッフ”としての第一歩を踏み出しました。4日間に及ぶ研修の最終日は、金沢ニューグランドホテルで外部の新入社員公開セミナーに参加し、それぞれの部署での活躍を誓いました。



皆様へのお知らせ

「春の健康フェア 2013 開催日決定！」

日時 平成25年5月17日(金)・18日(土)
朝9時～夕方4時(土曜日は昼12時まで)

場所 浅ノ川総合病院 本館1階中央廊下

お問い合わせ先 広報室

地域の皆様の健康を願って行われる、毎年恒例の参加無料・申込不要の催しです。
なお、17日(金)お昼12時から、リハビリテーション科 井戸一憲 医師による公開健康講座も行われます。

「創立記念日のお知らせ」

平成25年6月1日(土)は当院の創立記念日により休診とさせていただきます。

当日、**急患の場合**は救急外来で対応いたします。事前にお電話にて症状などをお知らせください。誠に勝手ではございますが、宜しく願いいたします。



編集
後記

今年は桜の開花が早まり、お花見もあっという間に終わってしまいました。

「今でしょ!」という言葉が流行っているように、何事にもタイミングがあるのだと思いますが、日本の四季の風物詩はまさにその“とき”を逃さないで上手にアピールできるすぐれものですね。

さて、私「あさのちゃん」の旬はいつでしょうか?(今でしょ?)好機を逃さないで、皆様の前にお目にかかれれば幸いです。



旬

問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL 076-252-2101(代) メールアドレス: kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp